

表題	N-エレクトリクリーンキーパー（仮称）	番号
		製開-1
CO <sub>2</sub> 削減効果	6.2t/年（年稼働 1,920 時間で算定）	
	従来比 47% 削減	

1)改善内容

アルミ溶湯を保持する黒鉛ルツボを容器兼ヒーターとした直接通電方式を採用。保持溶湯に接したルツボを直接通電加熱することで、CO<sub>2</sub>を削減する。従来タイプから一層の改良を図ったコンセプトモデル。

①従来の方法（通常バーナ加熱式）

○排ガスの熱損失および間接加熱による熱伝達性の悪さ。

保持燃料使用量 5.86 千 Nm<sup>3</sup>/年

都市ガスの CO<sub>2</sub> 排出量 13.1 t/年

②改善方法（（仮）N-エレクトリクリーンキーパー）

○直接溶湯に熱伝達することで、効率の良い加熱保持が可能。

保持燃料使用量 14.78 千 kW/年

電気の CO<sub>2</sub> 排出量 6.9 t/年

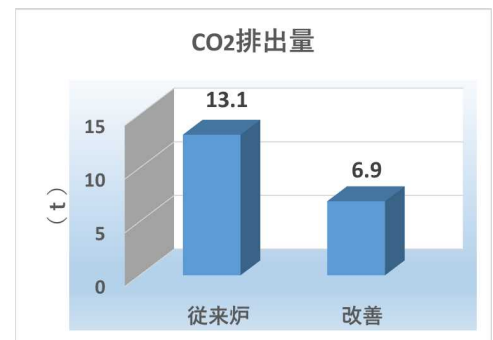
※ガス式、電気式共に 200kg 容量保持炉

2)CO<sub>2</sub>削減量試算

従来比 47% 削減

3)適用の条件、付随効果等

現場での排出ガスゼロ、クリーンな作業環境、高精度温度制御による高製品歩留まり



開発事例

（仮）N-エレクトリクリーンキーパー(CFR400型相当の場合)

特長

○排ガスゼロ(CO<sub>2</sub>発生ゼロ)、クリーンな作業環境

○高精度温度制御 ±1℃

仕様

○保持容量(最大)アルミ400kg

○保持温度 660℃~720℃



【発行】

日本ルツボ(株) 製品開発部